

第5次病院構造改革推進方策（R6～R10年度）の概要

【第5次病院構造改革推進方策の位置づけ】
 ・公立病院経営強化ガイドライン（総務省）に基づく経営強化プラン
 ・「ひょうごビジョン2050」のめざす姿「安心して長生きできる社会」を実現する病院事業分野の実行プログラム

課題・環境変化

- 新興・再興感染症発生時における通常医療との両立
- A I ・ I C T の進化とサイバー攻撃の脅威の増大
- コロナ禍を経た受療行動や人口減少・年齢構成の変化に伴う医療需要の変化
- 医療の高度化に伴う高額医療機器・医薬品の増加や各種物価高騰
- 生産年齢人口の減少の加速化と働き方改革の推進

対応・第4次方策からの変更点

- 課題・環境変化に的確に対応し期間中に目指す姿としてビジョンを設定
- ビジョンの実現に向け再編した基本方針（4つの柱）のもと施策を展開

体系図

基本理念

県民と地域から信頼され
安心できる県立病院

ビジョン（目指す姿）

地域医療を安定的に提供するための持続可能な県立病院づくり
～近未来（2040年）を俯瞰しつつ、起こりうる変化へ対応可能な土台づくり～

基本方針（柱）

項目

記載する主な取組

医療の質の 更なる向上

- (1) 診療機能の高度化
- (2) 機能分化・連携強化
- (3) 診療の効率化と安全な医療の両立

- ・高度専門・特殊医療の提供
- ・医療機関間の連携の強化
- ・クリニカルパスの充実
- ・医療安全対策の推進

変革する医療への 的確な対応

- (1) 地域医療構想・地域包括ケアシステムへの対応
- (2) 平時を含む新興感染症等への対応
- (3) 病院D X の戦略的展開

- ・地域医療構想実現への貢献
- ・福祉機関等との連携の強化
- ・新興等感染症発生への備え
- ・統一的な病院D X の推進

収支構造の 最適化

- (1) 抜本的な経営改革に係る取組
- (2) 適正な設備投資・施設管理
- (3) 一般会計負担の考え方

- ・抜本的な方策の検討・実施
- ・採算性等考慮した設備投資
- ・安定継続的な繰入金確保

運営基盤の 強化

- (1) 医師・看護師等の県立病院を支える医療人材の確保・育成
- (2) 働き方改革の推進
- (3) 患者満足度の向上
- (4) 相応しい経営形態の検討

- ・医師等の確保・育成
- ・時間外労働の縮減
- ・患者利便性の向上
- ・全部適用下での柔軟な対応